

新除草・調節剤

1,320,急性経皮毒性はラットに対するLD₅₀(mg/Kg)で2,500以上である。魚貝類に対しては,48時間コイトLM=100ppm以上,48時間ドジョウトLM=100ppm以上,3時間ミジンコTLm=100ppm以上である。

使用方法:〔粒剤〕水の出入をとめ,浅く湛水(雑草が水面上にでる状態)して,10アールあたり4~6Kg(製品)均一に散布する。〔水和剤〕落水または浅く湛水(雑草が水面上に出る状態)して,10アールあたり800~1,200g(製品)(乾田直播栽培では600~1,200g)を70~100ℓの水に希釈し,均一に散布する。

使用上の注意:①散布後少なくとも3~4日間はそのままの状態を保ち,かけ流しはしない。なお,深水にすると効果の劣ることがあるので注意する。②砂質土および漏水のはげしい水田では使用しない。③1年生のイネ科雑草には効果が劣るので,田植前後の土壤処理除草剤で1年生雑草を防除した後,多年生水田雑草および1年生の広葉雑草の防除を目的として使用する。④雑草の生育段階によって効果にふれがあるので,必ず適期に散布するように注意する。⑤本剤の使用にあたっては,使用量・使用時期・使用方法等を誤らないように注意し,特に初めて使用する場合には農業技術者の指導を受けることが望ましい。

グラスジンD粒剤・水和剤

2,4PA・ベンタゾン除草剤

グラスジンM粒剤・水和剤

MCP・ベンタゾン除草剤

(取扱メーカー) 石 原産業株式会社
日産化学工業株式会社

対象作物:普通移植水稻・稚苗移植水稻

性状・作用特性:本剤は,3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4)-2,2-ジオキシド〔ベンタゾン〕10%(粒剤)30%(水和剤)と2,4-ジクロルフェノキシ酢酸エチル〔2,4PA〕1.5%(粒剤)4.5%(水和剤)2-メチル-4-クロルフェノキシ酢酸エチル〔MCP〕1.5%(粒剤)4.5%(水和剤)を有効成分とする茎葉・土壤処理除草剤である。ベンタゾンは,雑草の根および茎葉から吸収し,植物体内を移行し,ヒル反応阻害作用などによって殺草効果を発揮するが,作用はやゝ遅効性である。2,4PAやMCPは雑草に接触吸収移行し,細胞の異常分裂,呼吸作用が旺盛になるなど,生理作用の異常によって殺草効果を発揮する。いずれも植物体内を速やかに移行し,枯殺作用が発現するため,再発生は極めて少ない。また,高温時,日光によく当たる条件下で作用が強く発現し,多年生雑草に対しては両剤の相乗効果により少量で抜群の効果を発揮する。

毒性:人畜に対する急性経口毒性は,ラットに対するLD₅₀(mg/Kg)で,ベンタゾン…850,2,4PA…670,MCP…1,100である。魚毒性は,48時間コイトLMは,ベンタゾン…100ppm以上,2,4PA…1.0ppm,MCP…14ppmである。

使用方法:〔粒剤〕1~2cmに湛水後,3~4Kg(製品10アール当り)を均一に散布し,散布後4~5日間は深水にしない。〔水和剤〕散布前に落水し,製品1,000~1,330g(製品10アール当り)を70~100ℓの水に溶かし,噴霧器で雑草の茎葉全体によく付着するように散布し,散布後1~2日間は湛水しないこと。

新除草・調節剤

使用上の注意：①前処理剤（初期または中期除草剤）と体系処理をすること。（体系処理の場合の散布適期は暖地普通期で＋20～＋25日，寒冷地早植で＋30～＋40日である。）②粒剤は浅水（1～2cm）で処理し，処理後もしば

らくは浅水をつづけること。水和剤は前日に落水し，処理後1～2日間は湛水しないこと。③粒剤は漏水田では使用しないこと。④晴天の日を選んで処理すると効果がある。

ペンタゾン・2,4PA除草剤

（グラスジンD水和剤・粒剤）

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当り 使用量	10アール当り 散布液量	使用方法	適用地帯
水 稲	水田一年生 広葉雑草， ホタルイ， ウリカワ， ミズガヤツリ	有効分けつ終 止期～幼穂形 成期前	砂壤土～埴土	g 700～1,000	ℓ 70～100	〔落水散布〕 散布前日に落水 し散布する。	関東以西の普通 期栽培地帯
	同 上	同 上	同 上 〔減水深 1.5cm/日以下〕	3～4Kg	—	〔湛水散布〕 浅く湛水して本 剤を手又は散粒 機で均一に散布 する。	

ペンタゾン・MCP除草剤

（グラスジンM水和剤・粒剤）

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当り 使用量	10アール当り 散布液量	使用方法	適用地帯
水 稲	水田一年生 広葉雑草， ホタルイ， ウリカワ， ヘラオモダカ， ミズガヤツリ	有効分けつ終 止期～幼穂形 成期前	砂壤土～埴土	g 700～1,000	ℓ 70～100	〔落水散布〕 散布前日に落水 して散布する。	西南暖地を除く 全域の普通期裁 培地帯（北海道 を除く）
		幼穂形成始期	砂壤土～埴土 （減水深 1.5cm/日以下）			〔湛水散布〕 浅く湛水して散 布する。	北 海 道
	同 上	同 上	砂壤土～埴土 （減水深 1.5cm/日以下）	3～4Kg		〔湛水散布〕 浅く湛水して本 剤を手または散 粒機で均一に散 布する。	北海道を除く全 域の普通期栽培 地帯
		同 上					北 海 道